



ひかりいっぱい新聞

年頭に寄せて 院長 山川 良治

第35回日本視機能看護学会学術総会を開催

誤解の多い甲状腺眼症の診断と治療 その① 名誉理事長 木村 徹
職員に人気のメニューレシピ大公開



明けましておめでとうございます。

去年は、平成から令和と元号が変わりました。令和2年となった今年はオリンピック・パラリンピックという大イベントが開催予定で、新しい時代がいよいよ始まるという気持ちになります。

院長に就任して2年になりますが、最初の1年目は豪雨災害に見舞われその対応に追われたりして過ぎてしまった感があり、自分としては不完全燃焼でした。しかし去年は、光干渉断層計や静的視野計を購入し、多焦点眼内レンズの中でも最新の3焦点眼内レンズ、新しい緑内障手術として水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術の導入、さらに視野解析ソフト、眼内レンズの度数合わせに現在最も正確と言われるバレット式導入など、ハード・ソフト面とも充実した医療が展開できるようになりました。

今年は広角眼底カメラの導入など、さらに高度な医療が提供できるようにしたいと考えております。新しい検査など、皆様にはとまどうようなこともあるかもしれませんが、ご理解のほどよろしく願いいたします。さらに、満足していただける高度医療だけでなく、待ち時間の短縮など患者さんに喜んでいただけるように努力したいとも思っております。本年も皆様のご多幸を祈念致します。

院長 山川 良治

第35回日本視機能看護学会学術総会を開いて

看護師 石川 美幸

2019年11月3日～4日の2日間、広島コンベンションホールにおきまして第35回日本視機能看護学会学術総会を開催致しました。今回は当院が主管病院となり、会長を務めさせていただきました。



無事に学術総会を終え、主幹責任者を務めた木村 格副院長と笑顔で記念撮影

近年起こる様々な自然災害を通して、人と人とのつながりやところに寄り添うことの大切さを改めて実感し、「ここに寄り添う看護を目指して～この出会い・学びを未来のあなたへ～」をテーマに開催致しました。眼科に勤務する看護師や医師、視能訓練士など、全国から約631名が参加してくださり、盛況の内に終えることができました。当院からも多くのスタッフが参加し、6名が発表を致しました。

開催にあたり約2年前から準備に取りかかり、一つの大きな事業を成し遂げることができました。この達成感を胸に、今年もさまざまな取り組みを行い、地域に根ざした病院として患者さまやご家族の方々に信頼され安心していただける医療・看護が提供できるよう一層の努力をしております。

学術総会を無事終えて

当院が主管病院となり第35回日本視機能看護学会学術総会を開催、私が主幹責任者をさせて頂きました。

進歩しつづける医療技術に伴い、看護はより高度で専門分化しており、特に手術看護や最近の多様化したニーズに応じた説明、一方ではロービジョンケアとしての関わりなど、チーム医療の一員としてその責務を担っております。

看護師をはじめとする医療従事者が何を大切にしているのかを医師とも共有できたらという思いから、今回は医師にも広くご案内をさせていただきました。多くの先生方に参加していただきましたが、電子カルテによる情報共有化となっている今だからこそ、それぞれの職種がお互いを尊重し合い、必要な情報を共有してベストの治療を提供していかなければならないということを改めて実感していただけたのではないかと思います。

実行委員をはじめ、関係各位、参加者の皆様のご協力により盛会裏に無事終える事ができ心より感謝致しております。

副院長 木村 格



学術総会後の懇親会は、会員相互の交流、意見交換をする貴重な場です。参加者の緊張をほぐす為、当院のスタッフはカープのユニホームでお出迎え。ホテルにお願いし、お好み焼きの屋台も出させていただきましたが大人気で行列ができていました。

呉市のPRマスコットキャラクター呉氏くんも駆けつけてくれてダンスを披露。会場は大盛り上がりとなりました。

和やかな雰囲気の中で病院間の親睦を深める事ができ、懇親会も無事終了することが出来ました。



懇親会参加者には当院のスタッフが樹脂粘土で作った広島名物のマグネットをお土産にお配りしました。

誤解の多い甲状腺眼症の診断と治療 その①

～昨年度、当院外来252名、入院治療32名～

名誉理事長 木村 徹

甲状腺眼症は体に甲状腺異常抗体ができて、それが眼球の後ろ(眼窩)に炎症を起こして様々な症状をきたします。

その抗体が甲状腺を攻撃した場合はバセドウ病になり、同一の原因から違った病気になってくるので「眼症はバセドウ病から起こる」と誤解されてしまうことが多いのです。

眼症は、まぶたが腫れたり、充血、ぱちくり眼になったり、目の奥の違和感などで始まってくるので、結膜炎や眼瞼炎、ドライアイなどによく誤られるのが現状です。

進行してくると眼が動きにくくなって物が二重に見えたり(斜視)眼球突出を起こすことが特徴です。

治療について「眼は治療してもよくなる」とか、「内科の治療をしていれば自然に眼はよくなる」と考えておられる方が多いのですが、これらも誤りです。眼は内科とは全く別の専門的な治療が必要なのです。

昨年、当院に来院された甲状腺眼症の方は245名。そのうち入院治療を受けられた方は32名でした。県内外から沢山の方に起こしいただいている事に改めて驚かされ、頼りにして頂いて本当に医者冥利につきることと有難く思っております。

内科の協力のもと、全力で診療にあたっておりますので、本年もよろしくお願い致します。

診断のつきにくい甲状腺眼症

私の病気は
いったい何?

目が大きくなった

目の奥が
痛い

瞼が
腫れる

物が二重に
見える

充血する



眼球突出度検査

眼球の突出の程度や左右差を調べる検査



甲状腺眼症治療前

治療後

上方視

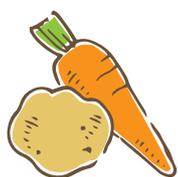
正面視

下方視

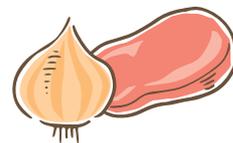


※治療前、右眼は筋肉の炎症のため上方視で上を向くことが出来なかった
瞼が開きすぎて特に下方視の下がりが悪く不自然





職員に人気のメニューレシピ大公開



～愛されて20年 デリシャスカレー～

呉市の人気メニューといえば、市内30店の飲食店で食べられる呉海自カレーが人気です。

当院では、栄養バランスが考えられた安くて美味しい昼食が職員に提供されていますが、メニューの中でも人気があるのが、やはりカレーです。種類も、デリシャスカレー、キーマカレー、季節の野菜カレーなど、カレーうどんも加えると、ナント10種類。

中でも1番人気のデリシャスカレーには、今では職員も知らない誕生秘話があります。約20年前、入院中のAさんは昼食のカレーを食べ、『このカレーは美味しくない!!』と、ご自身のカレーレシピを教えてくださいました。栄養士がそのカレーを作って食べてみると、まろやかで美味しい!このカレーなら皆も喜んでくれるだろうと、そのレシピをもとに栄養成分を考えアレンジして誕生したのがデリシャスカレーです。

今回、そのレシピを公開致します。当院で長きにわたり愛されてきたカレーの味を、ぜひご自宅でご賞味下さい!



カレーライス



カレーうどん



キーマカレー



デリシャスカレー(4皿分)の作り方

【材料】玉葱 中1個、ニンニク1片(押しニンニクでも可)、サラダ油 大さじ1、牛こま切れ150g、水400cc(少ないようなら600cc)、ローリエ1枚、こくまるカレー中辛35g(2片)、完熟トマトのハヤシライス46g(2片) 玉葱1/2個(すり卸す)、人参 1/2本(すり卸す)、マッシュルームスライス缶50g、牛乳40cc、
※ルーはこの割合だとハヤシの味が強いので、好みで加減して下さい



- ① 玉葱中1個は2mmの薄切り、ニンニクはみじん切りにする。
- ② 鍋にサラダ油とニンニク、玉葱を入れ弱火で玉葱があめ色になるまで炒める。
- ③ 牛肉を加えさらに炒める。肉の色が変わったら水とローリエを加え中火でアクをとりながら10分煮込む。
- ④ 玉葱と人参をすり卸して加え、マッシュルームも入れ5分ほど煮込む。
- ⑤ 火を消して、カレールーとハヤシルーを入れ再び火にかけてとろみが付いたら牛乳を加えて5分煮る。

栄養成分	カレー1皿分	ご飯200g + カレー
エネルギー	257kcal	600kcal
タンパク質	9.4g	15.2g
脂質	16.2g	17g
塩分	2.1g	2.1g

医療法人社団ひかり会

木村眼科内科病院

〒737-0029 広島県呉市宝町3-15

TEL : 0823-22-5544 [代表]

0823-21-1000 [病棟専用・夜間・休日]

FAX : 0823-25-9010

医療法人社団ひかり会

焼山木村眼科

〒737-0935 広島県呉市焼山中央1丁目10-9

TEL : 0823-33-8259

FAX : 0823-33-8279

<http://www.kimura-eye.or.jp/>

木村眼科

検索 できます。